

— 静かな夜と空を返せ —

発行日：2018 年 3 月 1 日

発行者：大沢豊／福本道夫

No.32

横田・基地被害をなくす会 NEWS

原告団 NEWS No.23

合同
発行

連絡先：〒196-0001 東京都昭島市美堀町 3-13-1 留守 TEL&FAX：042-542-5625

E-mail：なくす会⇒yokota_nakusukai@yahoo.co.jp 原告団⇒yokota9th@yahoo.co.jp

Web サイト http://www.geocities.jp/yokota_nakusukai/

発行：横田・基地被害をなくす会／第9次横田基地公害訴訟原告団

※NEWSは「横田・基地被害をなくす会」と「第9次横田基地公害訴訟原告団」の合同発行です。

NEWS内容 (CONTENTS)

3/15 第27回弁論（原告本人の証人尋問）に参加を……	1	経過報告と今後の予定……	3
2/15 裁判傍聴記……	2	オスプレイ反対署名活動予定……	4
「うるさい！」と思ったら＝抗議先一覧……	3	本年8月前後に地裁結審か……	4
		天欄……	4

3月15日第27回弁論に参加を～ 12時30分高松駅西側公園に集合

4人の原告の証人尋問実施～立川地裁 4階405法廷午後1時30分開始

次回3月15日（木）の法廷は、第27回目の弁論となります。私たちの訴訟は、いよいよ地裁段階のゴールが見えてきました。前回の第26回弁論で始まった原告本人による証人尋問ですが、今回で2回目となります。

2月15日の第1回目の証人尋問は、福本団長・青山副団長・原告以外のSさん（元小学校教員）でしたが、国側代理人の反対尋問は、各人の陳述書の内容の中で、危険への接近（なぜ横田基地の近くに住んでいるのか＝意図的に基地の近くに住んでいるのではないか）や被害を矮小化する（例えば、睡眠妨害などないのではないかといった内容）ことに終始しました。

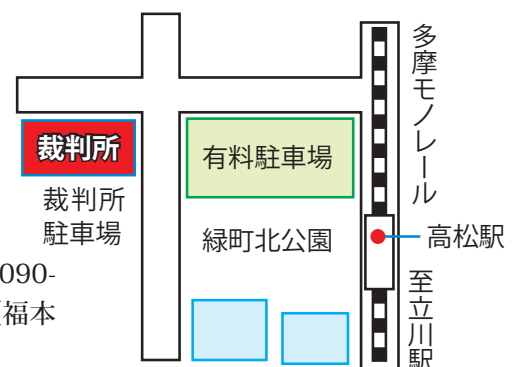
今回の弁護団を応援する意味でも、証人となる4人の原告（中里さん・塚本さん・榎本さん・志村さん）を

支援する意味でも傍聴にご協力ください。

裁判所に行くのが身体的にきつい方は、車での送迎も検討しますので、下記電話にお申し出ください。

事前集会は12時30分～緑町北公園です。

◇連絡先は、090-4951-0800（福本携帯）です。



2・15 裁判傍聴記

横田・基地被害をなくす会
会計：斉藤とし子

2月15日、第26回法廷が行われた。今回はこれまでの法廷内容とは異なる、人証（＝人的証拠⇔物的証拠）尋問が行われた。その尋問は、原告側弁護団が行う主尋問と、被告国側代理人による反対尋問とだ。原告側弁護団は6人、国側代理人は13人が法廷に入った。尋問に答える証人らは、これら立場の異なる双方からの尋問に答えなければならない。証人が自身の声で尋問に答え、記憶のまま正直に事実を述べ、その内容は証拠資料とされる。証人として答えるのは原告2人（Aさん、Bさん）と、原告外では、横田基地に近接する福生第3小学校と拝島第2小学校での教員経験をもち、現在は退職した元教員（Cさん）の合計3人だった。

3人は揃って宣誓のことはを話し尋問が始まった。これまでの法廷は10分足らずの場合がほとんどだったが、今回は始まったのが午後1時半、途中休憩をはさみ、終わったのは4時半という長い時間をかけたものだった。しかし、証人自らの声で尋問に答え、明らかになる事実からは、時間の長さを感じさせず、改めて基地の存在が周辺住民に及ぼす影響の苛酷さを目前に感じさせることになった。

Aさん・Bさん2人の原告はテレビなどの音の聞きにくさ、難聴など日常生活の中での不便さについて語った。耳に関する事柄は、他人には一見してはわからないことが多く、自分で言わなければ理解されない。私自身も鼓膜を破っているせいか、聞こえにくさ、聞き間違いなどは実感しているが、自分のそのような状況は相手一人一人について、その度に言わなければならず、何度会っても相手は忘れがちになり、伝えることが躊躇を伴うようになり、できなくなってくる。そのような状況が本人に与える精神的な影響について想像することができる。また、「国が定めた」ということだけで、信頼感を抱きがちな私たち国民に対して、そうではないのだと知らせるコンター（基地騒音の度合いを地図上で示す等高線）の存在だ。音など、影響の出方は個人差が大きいものに、一律基準を持ち込み、その範囲外には被害を認めない。Bさんの住む団地は7棟あるが、被害を認めるコンター基準内が4棟、3棟がコンター外という。基準コンター策定根拠の不透明性、何ら住民への理解も求めず作られていると思わせる。今回の裁判提訴時、原告の減少はこのコンターの存在が大きい。前回裁判ではコンター基準内だった地域が、裁判終了後コンター基準外にされている。

Cさんの証言について…周辺小学校、現実には子どもたちへの影響は、頭では全体としては想像できても、子ど

もたち一人ひとりへの影響まで思いいたっていなかったことを実感した。子どもたちの側に沿って、子どもたちが受ける被害を何とかしようと闘ってきた人の口から聞く事実は、自分や自分の子どもたちがその学校に学んでいたらどうだったかを思わずにいられない深刻さを伴って聞く者に響いた。教員退職後の現在は、被害を受けた子どもたちの勉強を助けるボランティア活動をしているという。退職後も被害が続く子どもたちの側にいる人の口から出ることばはとても重い。裁判長も身を乗り出して聞いていた。しかしながら、反対尋問をする国側代理人は、基地騒音の影響を受けているであろう子どもたちの割合に重点を置いたものだった。一人ひとり違う子どもたちの一つ一つ違った被害などへは、関心がないのかと思わせた。たった一人でも悪影響を受けることへの理不尽さには関心がないのか、低学年から高学年につれて慣れてくるから問題はないとも思わせたいのか、憤りを抱かずにはいられない。しかし、尋問のやりとり、割合について答える証人の口から明らかになったのは、子どもたちの成長につれてその影響は深刻化しているということだ。低学年では音による恐怖への表出、高学年では音を無視しなければならない状況への馴化が及ぼす影響だ。感じたものを感じていないような「ふり」をしなければ日常生活ができない。本来基地がなければ受けない。この証人を「理由がわからない」と国側は認めたがらなかったというが、その理由がわかるような尋問内容だった。問題の深刻さを軽減したいのか、酷薄な国の状況を体現するかのようだ。

傍聴者からは、反対尋問内容によって失笑と批判の声が時折起り、裁判長はそれらに対して「真剣にやっていますから、集中を妨げないように。」と注意した。国側代理人は、一人目の証人（Aさん）の答えを聞き違い、真剣に集中しているのか疑わしい場面も見られた。その内容は、証人は「夜遅くまで起きているので朝方眠りを妨げられる。」と言ったのに、夜間起こされると聞き間違えたのか、夜間飛行回数は減っているなどと、指摘した。原告側弁護人の指摘で、「朝方眠りを妨げられる」との発言の聞き間違いを正されたが、夜間飛行回数の減少を目立たせたいための恣意的な質問と思わせた。真剣に恣意的な質問を考えているのか、真剣さの方向は違うのか。国側代理人はあくまで原告の側に立たない、つぶさなくてはいったような意志さえもっているかのようだ。尋問内容からは、現地に行ったことすらあるのかと疑問を呈さずにはいられないもので

あった。しかしこのようなお粗末としか思えない反対尋問なのに、被害者たちの被害救済が実現しないのはなぜだろうとの疑問はぬぐえない。

今回傍聴人数は34人。今後は3月15日、5月17日にはそれぞれ4人の人証尋問が行われる。証人たちが明らかにするのは、本来基地がなければ蒙らない被害だ。被害者の口を通さなければ明らかにならない。どのよう

な事実が被害者の口から明らかにされるか期待をもって臨みたい。

一回でも多く裁判を傍聴し、事実が明らかになる現場の目撃者になりましょう。

ちなみに、交通費補助が出ます。傍聴一回500円です。事務局員がいますのでお知らせください。

「うるさい！」と思ったら…

各自治体には、苦情としてお伝えください。件数が記録されます。

横田基地：042-552-2511
航空自衛隊横田基地：042-553-6611
防衛省北関東防衛局：048-600-1800
防衛省横田防衛事務所：042-551-0319
外務省：03-3580-3311
東京都庁：03-5321-1111
瑞穂町役場：042-557-0501
羽村市役所：042-555-1111
福生市役所：042-551-1511

抗議先一覧

昭島市役所：042-544-5111
立川市役所：042-523-2111
武蔵村山市役所：042-565-1111
日野市役所：042-585-1111
八王子市役所：042-626-3111
あきる野市役所：042-558-1111
青梅市役所：0428-22-1111
入間市役所：04-2964-1111
飯能市役所：042-973-2111

経過報告と今後の予定 (2017年12月26日～)

- * 2017年12/26 オスプレイ横田配備反対連絡会＋交流会
- * 2018年1/7 低周波音記録グラフ化完成
- * 1/11 なくす会＋原告団役員会議
- * 1/12 日野市議会議員とのオスプレイ懇談会
- * 1/14 オスプレイ横田配備反対連絡会署名行動
- * 1/19 裁判・進行協議
- * 1/24NHK 受信料金の助成打ち切り問題・防衛省交渉 (厚木爆同主催)
- * 1/25 第25回弁論と進行協議
- * 1/29 オスプレイ連絡会
- * 1/31 基地案内 (個人の希望者2名)
- * 2/1 T氏宅騒音計測定開始
- * 2/1 弁護団＋原告団会議
- * 2/7 NEWS号外印刷～発送準備
- * 2/7 NEWS発送依頼
- * 2/8 なくす会＋原告団役員会議
- * 2/14 オスプレイ東日本連絡会
- * 2/15 第26回弁論・人証尋問
- * 2/19 立川市議会議員とのオスプレイ問題交流会
- * 2/22 T氏宅騒音計測定終了

☆☆☆☆☆以下は今後のスケジュール☆☆☆☆☆

- * 3/3 オスプレイ連絡会署名 (立川駅南口)
- * 3/8 なくす会＋原告団役員会議
- * 3/12 オスプレイ連絡会役員会議
- * 3/15 第27回弁論・原告本人尋問
- * 3/30 全労協・横田基地学習会<福本>
- * 4/13 オスプレイ横田基地配備反対学習決起集会
- * 4/28 オスプレイ連絡会署名 (昭島駅北口)
- * 5/17 第28回弁論・原告本人尋問
- * 7/19 第29回弁論

◇第2回現地検証…今のところ日程のめど立たず

☆☆☆☆☆以下は横田基地の状況☆☆☆☆☆

- * 1/7 米軍属、飲酒運転で交通事故起こす
- * 1/10 C-130J・10号機、横田基地に到着
- * 1/11～1/21 東富士での演習参加等のためオスプレイ5機飛来～東富士での訓練中止時に横田で訓練実施
- * 1/19 パラシュート降下訓練実施
- * 2/6 (火) ペンス米副大統領、横田に要人輸送機を使って来日～飛来機増加
- * 2/22 C-130J・11号機、横田基地に到着

オスプレイ反対 署名活動予定

このニュースが届く頃では遅い日程もありますが…

- ◇ 3月3日（土）11時～12時：立川駅南口テラス
この日は横田・基地被害をなくす会・会員の方の協力でエイサーも登場。にぎやかに署名活動を行います。
- ◇ 4月28日（土）13時30分～14時30分：昭島駅北口。久々の昭島駅です。
- ※ 4月13日（金）18時30分～：立川 RISURU ホール（立川市民会館）オスプレイの横田配備反対・学習決起集会（三多摩平和運動センターなど主催）。
福本団長も報告者として登場します。

本年8月前後 に地裁結審か

今後の予定は以下の通りです。

- ◇ 3月15日（木）第27回弁論：原告本人尋問4名
【中里さん（立川）・塚本さん（立川）・榎本さん（昭島）・志村さん（瑞穂）】
- ◇ 5月17日（木）第28回弁論：原告本人尋問4名
【小柴さん（昭島）・川口さん（昭島）・佐々木さん（八王子）・有賀さん（日野）】
- ◇ 7月19日（木）第29回弁論
※なお、3月に予定されていた現地検証の2回目は、国側の日程調整が理由で、当方の希望日程＝冬季実施ができないことから、実施は厳しい状況です。

▶ 1月11日夜、役員会の新年会があった。昨年9月の現地検証で最後に行った現場、立川市中里（基地の南東）のNさん宅が会場。Nさんは芸術家で、家の外には彫金の風車がまわり、螺旋階段を登って2階が玄関。屋上に昇るのはハシゴである。あちこちに置かれている調度やストーブなどもNさんの作品が多い。魅了された役員の一人が言い出しっぺになって、実現した新年会だった。▶ 月始めの役員会を兼ねていたので、最初はまず訴訟団の会議。宮崎県新田原の自衛隊基地ではじまる新たな訴訟のこと、終盤に近づいている裁判での原告尋問の準備、二回目の現地検証の課題と場所、オスプレイ配備反対連絡会がはじめた基地周辺自治体市議会議員との懇談会のこと…。議題はいっぱいあった。だが、目の前に並んだ一品持ち寄りの料理や沖縄みやげの泡盛につい目がいってしまう。1時間半ばかりの会議を終えて乾杯！新年会が始まった。▶ 会費千円は安く、登場した多種多様な料理も楽しい。台所も客間も一室にあつまった2階。Nさんが作った馬の鋳型の薪ストーブが燃えて、やわらかい温かさに包まれる。話題も豊富で、「なんでいままでこういう集まりを持たなかったんだろう？」と思えるいい会になった。幹事は悦にいていた。ご苦労さま。そしてNさんご夫妻、ありがとうございました。▶ 酒も料理も十分に楽しみ、話題も豊富な宴も終わりに近づいた頃、聞きなれないヘリの「ポロポロ」という音が聞こえてきた。「オスプレイだ！」と団長のFさん。同機の着陸をいつも眺めているこの家の主のNさん、瑞穂の原告のKさんとWさんが、耳を澄まして聞き入り、うなずいた。横田基地にかかわる

天欄

裁判の原告・支援が一緒に持っていた2018年最初の集まりに闖入したオスプレイ。「ふさわしいと言うべきか」と思った。▶ 後日問い合わせ判明したのは、20時52分、ドラゴン05番機（後日判明）オスプレイが南から北向きに飛来し、横田基地に着陸。この機は沖縄から飛来し、岩国に18時43分に着陸した機だった様子だ。▶ 1月末のオスプレイ配備反対連絡会の席でもらった飛来記録によれば、1月中に現れたオスプレイの機体は5機。東富士演習場に度々をかけて訓練を行った。そして東富士の天候が悪いと横田基地とその周辺でタッチ&ゴーやローパス、旋回などの訓練を行った。駐機場所も配備施設建設予定地近くに移っているという。「横田配備」に近い状態だ。冬の寒さに弱いと言われていたオスプレイ。墜落や不時着事故が横田周辺で起こるのは時間の問題かもしれない。（K）▶ 今年1月になって、防衛省・北関東防衛局から防音工事完了世帯に送られてきたNHK受信料助成打ち切りの通知は、あまりに乱暴なものだった。詳細については、原告団ニュース号外でお知らせしたが、アンケート回答を出すのは、いましばらく待ってほしい。矛盾だらけの論理で助成打ち切りはないだろう、と思う。現在、防衛省宛の打ち切り見直しの要請と基地周辺自治体へのはたらきかけを準備中だ。▶ 集団移転跡地が点在する昭島市美堀町地区では、跡地の勝手な利用は認めないとの防衛省文書がポスティングされている。跡地に囲いをして中に入れないようになっている場所の管理がきちんとできない防衛省が何をかいわんやである。これについても何らかの行動を起こす予定だ。防衛省は色々仕掛けてくるな。（M）